

第一位入賞スピーチ原稿

私の星

阮 寅初

私はいつも夜空を見ます。星が大好きですから。そして、何も考えないまま、まるで、“ちびまるこちゃん”のように、ぼんやりするだけでした。でも、今は変わったんです。何かを考えながら、空を見るようになりました。日本に来てから、いろいろありましたから。今日はその中のいくつかを話してみたいと思います。

『ハンバーガーが安い？』

日本の物価は中国より高いのは誰でも知っていることでしょう。ですから、日本に来たばかりの私はいつも日本円を中国元に換算していました。ある商品の値段が高すぎるので、手が出ないこともありました。ある日、私は寮に近いスーパーで買い物しました。私の視線はおいしそうなハンバーガーに引きつけられました。ラップの上には「20円」のシールが貼ってありました。とても安いので、つい8コもカゴに入れてしまいました。そして、帰り道に、レシートを見ると、ハンバーガー、単品108円と書いてありました。それで、ハンバーガーを袋から出して、貼ってあったシールをもう一度見ると、その一番下の20円の後には、「引き」の字も書いてありました。その結果、その後の2日間、私はハンバーガーだけで、他の食べ物は何も食べられなかったんです。

『新三河島はどこですか？』

日本の服や建物は中国のと違うので、私はいろいろな写真を撮っていました。ある日、町屋で、京成線に乗り換える時のことでした。次の電車まで、あと10分ありましたので、私はすぐつまらなくて、写真を撮り始めました。駅のも、漫画を読んでいる人のも、線路にのんびりしていた猫の写真も撮りました。そして、反対側の電車が来る一瞬も撮ったので、満足した私はついその反対側の電車に乗ってしまいました。そして、次の駅は聞いたこともない駅でした。私は急に緊張してしまいました。それは2007年10月17日のことでした。その駅の名前は新三河島です。私の隣に座っている人は皿クラスの巖継孫でした。ちなみに、彼もとても緊張していました。

『雪』

「まもなく、2番線に綾瀬行きがまいります」とか、皆さんもいつも聞いているでしょう。その「行き」は、空から降る雪じゃなくて、「行きます」の意味ですよ！ でも、あの時の私は全然分らなかったんです。電車の名前は「白い雪」だと思い込んでいました。そして、それを上海に住んでいる友達に教えました。「日本人はとてもロマンチックですよ！ 電車さえロマンチックな名前があるんですよ。」その後、「我孫子雪」も「取手雪」も、出て来ました。もしかしたら、千代田線の電車は全部「雪」なんですか。私はそう思いました。でも、日本に住んでいるうちに、もっともっと多い「雪」がどんどん出て来ました。「上野雪」や、「品川雪」等々。すごく分りにくいので、学校の先輩に聞きました。しかし、聞いた後で、私の顔も赤くなってしまいました。上海の友達に言わなければ良かったなあ・・・と後悔していました。

この他にも、アルバイトで、マネージャーと喧嘩、寮で火鍋を食べすぎてお腹が痛くなったとか、お弁当を作って、友達や先生と一緒にお花見に行ったこととか。いろいろがあって、日本での留学生活がもっともっと面白く、豊かになって来ました。

でも、ある日の夜、アルバイトが終って、帰る時に、急に悲しくなって、涙が浮かんで来ました。両親を思い出して、今の寂しさを強く感じたのかもしれませんが。でも、涙を流しませんでした。両親に「どんなことがあっても、絶対泣くな」と言われたから。そして、空を見上げると、きらきらしている星が見えました。日本であったいろいろなことも私の人生の中で、きらきらしています。そして、いろいろなことが分ってきました。

“冷静にすること”

何かをする前に、きちんと“見る”、“聞く”、“考える”こと。

“知らない事があれば、必ず聞くこと”とか。

夜空がすごく綺麗です。ここの空は上海のと、一体どこが違うのか、私はまだ分らないけれども、ひとつ分かることがあります。それは、私はただ空に、一番大きな星が欲しいんです。

それはきっと叶えたい、私の夢です。

輝いて、輝いて。